

相互提案協働事業 報告書

平成 23 年 5 月 23 日

（あて先）鎌倉市長

住所 [REDACTED]  
 郵便番号 [REDACTED]  
 団体名 湘南失語症者を支援する会  
 代表者氏名 [REDACTED]

平成 22 年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	「失語症等成人中途言語障害者への地域コミュニケーション支援事業」
事業概要	失語症等の成人中途言語障害者は、障害がありながら生活していくにも関わらず、障害が目に見えないため理解や支援を得にくく、社会参加の場も殆どないまま孤立しがちである。生活の場である地域での支援態勢は重要であるが、地域住民や介護関係職員、家族もどのように対応・支援したらよいか方策がわからない場合が多い。医療・介護・行政の現場で対応しきれず、社会的交流や支援を必要としている言語障害者に対して、地域でのコミュニケーション支援を目的に、グループ活動の場作りや支援する側の市民啓発活動を展開し、広く言語障害に対する理解を推進し、言語障害者のノーマライゼーションを促す一助とする。
市担当課	障害者福祉課
事業実施期間 （継続中の事業については、継続に○をつける）	開始 平成 21 年 4 月 16 日 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">継続</span> ~ 終了 平成 年 月 日
協働の形態	市民活動団体提案協働事業
事業費	404,000 円

**鎌倉市役所**  
 平成 23.5.27 受付  
 第 178-9 号

<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p>&lt;達成できた点&gt;</p> <p>① グループ活動：今年度も引き続き協働による会場確保の結果、毎月定例会の参加者数が増加し、2 グループでの訓練が実現、訓練内容が充実した。地域での認知度も高まり、市内外からの見学者数も多い。(実施回数 12 回、のべ参加人数 131 人)</p> <p>② 派遣事業：言語聴覚士による毎月定例の個別相談 5 件、施設訪問 4 件(内容は職員研修、総参加者数 76 人)を実施した。また直接事業には結びつかないが、事業の認知度が上がったことにより問い合わせ(十数件)が増え、相談窓口としての成果も見られる。</p> <p>③ 講習会：年 2 回の一般市民及び関連職向け「失語症基礎講座」を開催し、啓発を重ねた。(総受講者数 37 人)</p> <p>&lt;達成できなかった点&gt;</p> <p>相談事業については、想定件数に比し、実施件数が充分ではなかった。</p>
<p>成果・効果</p>	<p>① 今年度も担当課の障害者福祉課の他、高齢者いきいき課・市民健康課など関連課の協力を得ることにより、派遣事業(特に施設訪問研修)・講習会の参加者数が確保できた。</p> <p>② 継続的な会場確保により、事業実施の安定化が図れた。</p> <p>③ 定例会の会場が確保できたことで、言語障害に特化したグループ活動を、言語聴覚士が介入して継続することが軌道に乗り、実績を上げている。定例的な活動は近隣地域にもないため、見学者も含め参加者数は安定している。</p> <p>④ 言語聴覚士が、役所から依頼されて直接施設に出向いて終業後の職員研修や個別ケースへの相談に応じる施設訪問は、地域ニーズに即して柔軟にサービスを提供できるという点において、協働でなければ実現できない新しい事業形態である。県内初の事業のため、市外近隣施設からの要請もあった。結果として年間総数 76 人の関連職員を啓発できたということであり、成果である。</p> <p>⑤ 個別相談(5 件)は、数は少ないもののこれまでどこにも相談できなかった障害者がいたということであり、必要性は大きい。</p>
<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<p>① 今年度は市の既存の方法を充分に使って広報に努めたが、更に実績に結びつく広報活動の強化が必要である。現行の広報活動に加えて、独自のニーズ掘り起こし(市内施設向けアンケート等)や、対象者確保のためのルート開拓等、具体策を検討していきたい。</p> <p>② 今年度までの実施件数を踏まえて、事業によっては実態に見合った回数見直しを行う。</p> <p>③ 事業実施者(提案団体)と担当課間での事業評価の共有を深めたい。現場の声を担当課に伝え、実感を伴った評価として共有する。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>地域リハの成果を上げるためには、継続と保証が必要であり、これは行政との協働なくしては実現できない。協働事業 2 年目を経て、件数だけではなく内容的にも形になり始めてきた事業の実績を重ね、今後は、協働終了後、市で事業化していくための現実的・具体的な内容・方法を、担当課と協議していきたい。</p>

添付資料

- ① 22 年事業実績(個別相談・施設訪問・講習会・グループ活動・友の会)
- ② 22 年度収支決算書

鎌倉市協働事業「失語症等成人中途言語障害者への地域コミュニケーションサービス事業」  
平成22年度収支決算書

科目	金額	備考
<収入> 協働事業市負担金	404,000	
<支出>		
1. 市民啓発活動事業(講習会)		
講師謝金	30,000	15000 × 2回
通信費	1,030	
印刷費	1,500	
2. 大船地区地域グループ活動事業		
講師謝金	113,330	総額225,000の一部
消耗品費	840	
通信費	490	
印刷費	1,065	
3. 言語聴覚士派遣事業		
講師謝金	255,000	①個別相談15,000 × 12回 ②施設訪問15,000 × 4回 ③グループ指導5,000 × 5回
印刷費	745	
合計	404,000	

湘南失語症者を支援する会  
平成23年3月31日